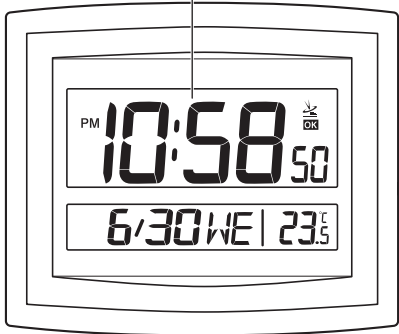
Operation Guide ID-27J

CASIO

各部の名称と表示の見方

機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。
ご使用の前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

（表面）

①スヌーズボタン
アラーム報音中に押すと音が止まります。

②アラーム時刻セットボタン
アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。

③アラームスイッチ
アラームのスヌーズ／オン／オフの切り替えができます。

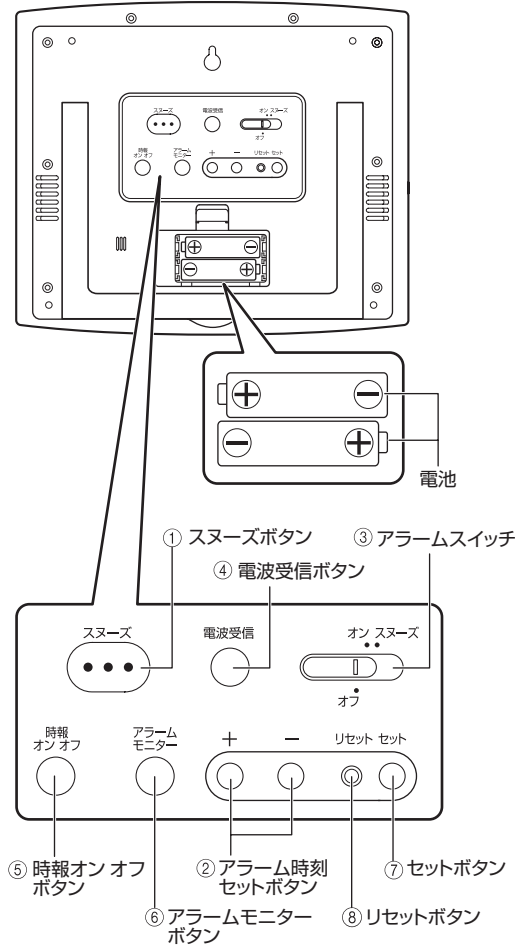
④電波受信ボタン
押すと電波受信を行ないます（手動受信）。

⑤時報オン オフボタン
時報のオン／オフの切り替えができます。

⑥アラームモニターボタン
押すとアラーム音を試しに聞くことができます。

⑦セットボタン
押すごとにセット状態が切り替わります。

⑧リセットボタン
電池交換後、必ず押します。
※ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。

（裏面　電池ブタを開けたところ）

※機種により形状等が異なることがあります。

●表示の見方

●温度表示について

温度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度を計測／表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度を表示するまで（時計内部がその温度と同じになるまで）約30分程度かかります。なお計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

※温度計測は毎分行ないます（ただし、電波受信中、報音中は計測を中断します）。

※－9.5℃未満の場合“LL”表示、＋40.0℃を超えた場合“HH”表示となります。

※リセット後、約1分間は温度表示を行ないません。

●曜日の見方

MO	TU	WE	TH	FR	SA	SU
月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜

電源について

●本機は単３形マンガン乾電池を２本使用します。
●電池はできるだけ“カシオ指定の電池”または同等品をご使用ください。
●本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

■ 電池交換のしかた（電池は全て交換してください）

(1) 電池ブタを開け、古い電池を取り出します（「●電池ブタの開け方」参照）。
(2) 新しい電池の⊕ ⊖を間違えないように入れ、完全に押し込みます。
(3) 電池交換後､リセットボタンを押します。
(4) 電池ブタを閉じます。
※アラーム､時報等は再度セットし直してください。

（裏面　電池ブタを開けたところ）

●電池ブタの開け方

（裏面）

1 電池ブタに指をかける（フックを押す）。
2 本体を押さえながら電池ブタを外側に開く（フックを押しながら開く）。

＜ご注意＞

●電池の ⊕ ⊖ の向きは正しく入れてください。
●電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。
このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
• 誤動作（時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
• 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
• アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
●お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池は幼児の手の届かない所に保管してください｡万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

本機の使い方

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます（「■電池交換のしかた」参照）

本機裏面の電池ブタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

2 リセットボタンを押します（リセット操作）

本機裏面のリセットボタンを押します。
➡時刻表示が「PM12：00 00」となります。
※電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。
※リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

3 本機をお掛けになりたい場所の近くに置き、電波受信の様子を見ます

「PM12：01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないます。お掛けになる前に電波受信の様子を見てください。
※受信中は受信インジケーターで受信状態をお知らせします。

・受信開始後、受信状態により段階的に変化します（4段階）。
・受信しやすい場所でも4段階まで表示するのに約4秒程度かかります。
・天候、時間、環境等により電波の状態は変化します。
・受信インジケーターは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

※1回の受信は約2～14分間（リセット直後は約4～14分間）です。
※受信中はボタン操作を行なわないでください。

図①

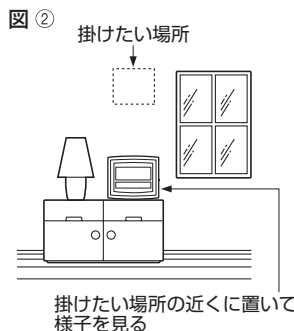
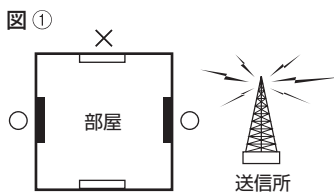
図②

<ご注意>

- お掛けになる場所は、窓側などできるだけ電波が届きやすいところに送信所と壁面の向きを考慮して選んでください（右図①）。
- 電波受信の様子を見る場所は、お掛けになりたい場所のできるだけ近くに同じ向きにして置いてください（右図②）。

➡ **受信成功**

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻／月日（曜日）に修正されます。また、OKマークおよび受信マークが点灯して受信成功をお知らせします。
※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。
※場合により「時」「分」「秒」のみ正しく表示することがありますが、その後受信に成功すれば、「月」「日」「曜日」も正しく表示されます。

＜電波受信中＞　＜受信成功例＞

受信できない … 時刻修正は行ないません。

約14分後に受信は止まります。
※このときは、置く場所を変えて電波受信ボタンを押すか、アラーム時刻セットボタンで時刻を合わせてから電波受信ボタンを押して、もう一度受信開始させてください（「時刻の合わせ方」「●電波受信についてくご注意＞」参照）。
• 電波受信ボタンを押すと、電波受信を開始します。…**手動受信**
※電波受信ボタンを押さなくても「PM1：01」になると、再び自動受信を開始します。（毎時1分、24回／日）
※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

4 1～2週間電波受信の様子を見ます

本機は、通常毎時1分（1日24回）に電波受信を自動的に行ないます。

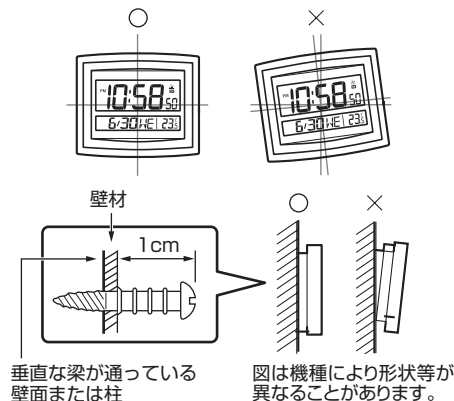
本機を取り付けてください。

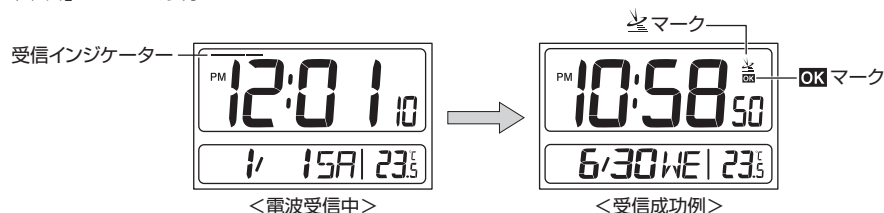
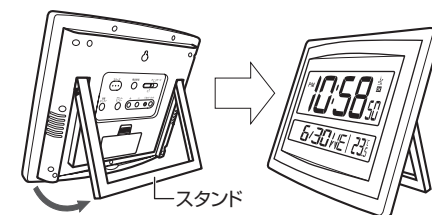
その場所では電波受信しづらいので、場所を変えて、再度電波受信の様子を見てください。

5 本機を取りつけます

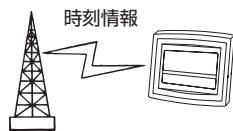
※受信の様子を見た場所とお掛けになった場所で、電波受信に差が出る場合があります。
※スタンドをお使いになりますと、置き時計としてもご利用になれます。

<時計の掛け方について>

- ネジを垂直な梁が通っている壁面または柱にしっかりネジ込みます。
- 下図の様に時計を正しい姿勢で取りつけます。

<スタンドの使い方>

裏面のスタンドを起こすと本機を置いて使うことができます。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に１秒未満のズレが生じます。

●標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz) から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

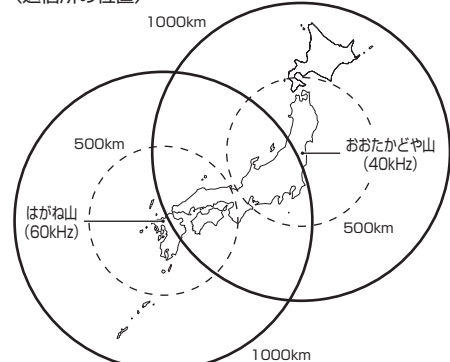
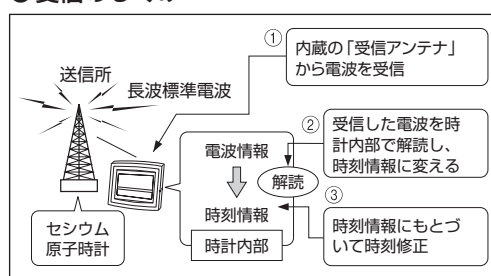
●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

〈送信所の位置〉

●受信のしくみ

●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) と「はがね山標準電波送信所」(60kHz) の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます（自動選局機能）。通常は毎時１分に電波受信を自動的に行ないます（自動受信）。

※１回の受信は約２～14分間（リセット直後は約４～14分間）です。

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻／月日（曜日）に修正されます。また、OKマークおよびアンテナマークが点灯して受信成功をお知らせします。

OKマーク…現在の時刻台に電波受信が成功していることを表します。
（例：現在が午後２時35分の場合、午後2時台に受信成功していることを表します）
※時刻台が変わった場合、または手動受信を行なった場合は消灯します。

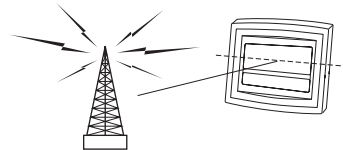
アンテナマーク…１日１回以上、電波受信が成功していることを表します。
（正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります）
※ただし、受信成功していても午前2時と午前３時になると一度消灯します。その後受信成功すると、再び点灯継続します。

＜正しく受信するために＞

○電波受信できる場所でお使いください（「●使用場所について」参照）。

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい設置のしかた

・時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする
・金属板の上などを避けて窓際で行なう

○受信中(受信インジケーター表示中)に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中に電波受信ボタンを押すと、受信を中断します。

＜ご注意＞

○アラーム時刻セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に電波受信ボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

○アラームオンでアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません（例：アラーム時刻＝午前７時15分のとき、午前７時１分の自動受信は行ないません）。

○電波受信を行なわない間は、月差±30秒以内の精度で計時します。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）
※但し、窓ぎわで使用すると受信しやすくなります。

高圧線、架線の近く

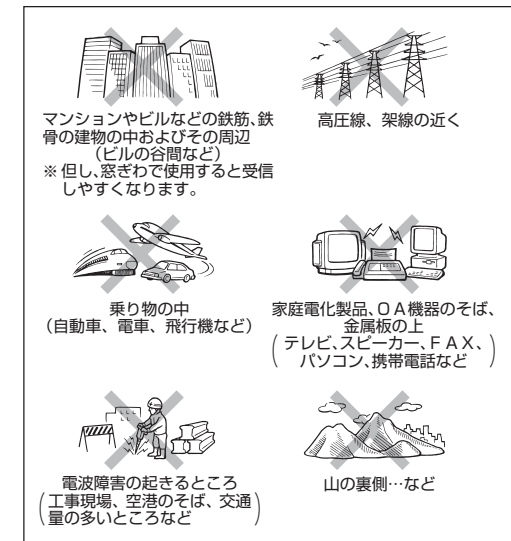
乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）

家庭電化製品、ＯＡ機器のそば、金属板の上
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）

電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど）

山の裏側…など

Operation Guide ID-27J

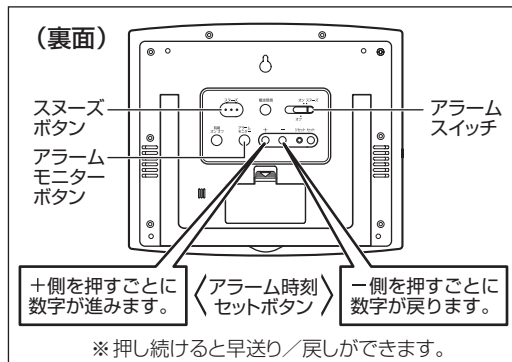
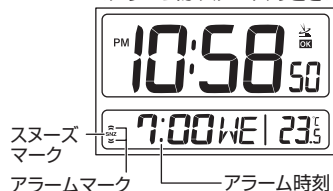
CASIO

アラームの使い方

あらかじめ設定した時刻になると、アラーム音が鳴りだします。
なお、アラームスイッチの位置により、止めても繰り返し鳴るスヌーズアラームとして使うことができます。

●アラーム時刻の合わせ方

アラーム時刻セットボタンを使って、アラーム時刻を合わせることができます。
アラームがオフの場合は、アラーム時刻セットボタンを1回押すと、「月日表示」が「アラーム時刻セット表示」に切り替わります（セット終了後、数秒で自動的に「月日表示」に戻ります）。

電波受信中にアラーム時刻セットボタンを押すと、電波受信は中断されます。

※押し続けると早送り／戻しができます。

●アラームのオン／オフ設定

本機裏面のアラームスイッチの位置でアラームのスヌーズ／オン／オフが選べます。

アラームスイッチ	鳴り方
スヌーズ (SNZ)	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。 なお、スヌーズボタンを押して音を止めても、再び鳴りだすスヌーズアラームです。 ※"SNZ"マークが点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります（スヌーズアラーム機能中）。
オン	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
オフ	アラームセット時刻になってもアラーム音は鳴りません。

※アラーム音は1分間5段階でだんだん変化します。

●鳴っているアラーム音を止めるには

- 鳴っているアラーム音を止めるには、スヌーズボタンを押します（スヌーズアラームのときは再び鳴ります）。
- スヌーズアラーム機能を解除するには、アラームスイッチを"オフ"にします。

●アラームモニター

- アラームモニターボタンを押すとアラーム音を試しに聞くことができます（1分間）。

※アラームモニターボタンまたはスヌーズボタンを押すとアラーム音は止まります。

時報の使い方

正時（00分）になると時報が鳴ります。
※時報オンで、アラームスイッチが"オフ"のときに、朝6時～夜12時の間、時報が鳴ります（アラームをオンまたはスヌーズに設定しているときは時報は鳴りません）。

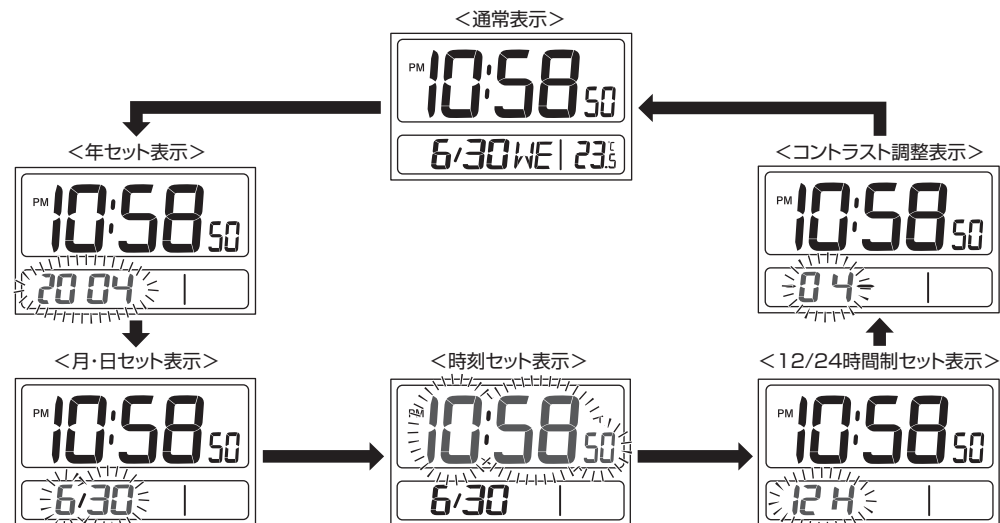
●時報のオン／オフ設定

本機裏面の時報オン オフボタンを押すごとに、時報のオン／オフが切り替わります。
➟"SIG"マークが点灯しているとオン、点灯していないとオフとなります。

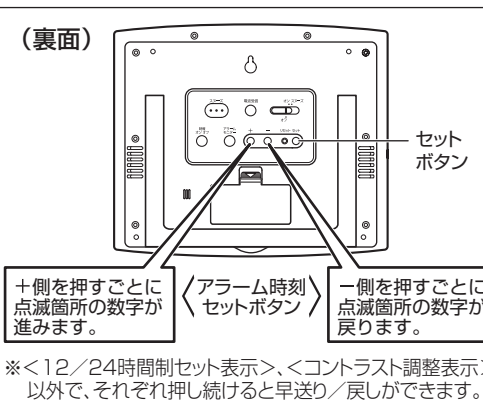
時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

1 セットボタンを押す（セット表示へ切り替える）

本機裏面のセットボタンを押すごとに以下の順に表示が切り替わります。

2 アラーム時刻セットボタンでセットを行なう

アラーム時刻セットボタンを使って、現在時刻などを合わせることができます。

※<12／24時間制セット表示>、<コントラスト調整表示>以外で、それぞれ押し続けると早送り／戻しができます。

- 年は2000年～2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。
- <時刻セット表示>のときはボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで00秒になります。
- <12／24時間制セット表示>のときはボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。
- <コントラスト調整表示>のときはボタンを押すごとに数字が1つずつ進み（戻り）、濃度が16段階で調整できます（リセット操作後は－04－になっています）。

－01－ 薄い ←･･･ －04－ ･･･→ 濃い －16－

3 セットボタンを押す（通常表示へ戻す）

セットが終わりましたら、セットボタンを押して<通常表示>に戻します。
※セット表示で何も操作をしないと、約3分後に自動的に<通常表示>に戻ります。